

# 南浦和中だより

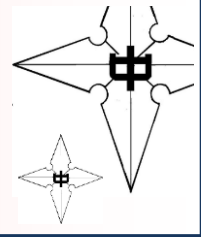
〒336-0026 さいたま市南区辻 6-1-33

TEL 048(863)0753

FAX 048(836)1589

さわやか相談室直通

TEL 048(837)5909



## 『空に太陽がある限り』

校長 おお ころ うち のり かず 大河内 範一

夏休みの終りに「劇場版『鬼滅の刃』無限城編 第一章」を観た。戦闘シーンはダイナミックでスピード感があり、物語の舞台となる無限城のビジュアルもCGが駆使されていて、とても素晴らしい仕上がりになっていた。(朝から水分を控えめにして、3時間に及ぶ映画をトイレに行かずに乗り切りました・・・)

『鬼滅の刃』と出会った頃は、主人公たちが着ている色鮮やかな法被(はっぴ)の模様や、登場する鬼たちの奇妙奇天烈な容姿のデザインに興味を持っていた。(美術科なので・・・)その後、漫画本を大人買いして読み進めたり、テレビ番組の動画配信をまとめて視聴したりするうちに、次第にストーリーに引き込まれていったのである。

『鬼滅の刃』のストーリーはというと、「人食い鬼が住む大正時代の日本を舞台に、主人公の竈門炭治郎(かまどたんじろう)が、鬼に変貌してしまった妹を人間に戻すために、鬼を討つ仲間たちと共に剣士として戦っていく姿を描いたダークファンタジー」という感じである。また、主人公の成長に加え、兄妹や家族の絆もわかりやすく、そして感動的に描かれている。

『鬼滅の刃』の人気の秘密についてもいろいろと分析されているが、炭治郎が過酷な運命の中でも決して希望を捨てずに、強い信念をもって戦い続ける姿、というのが一番であろう。また、敵として登場する残虐で憎たらしい鬼たちにも、実はそれぞれに悲しく切ない人生(鬼生?)があり、それがていねいに描かれているのもいい。(映画で登場した鬼の猗窩座(あかぎ)の過去も泣けましたね・・・)

ちょっと前の物語では、人に退治され、この世から消えかけている鬼に対して、炭治郎が優しい言葉を掛けてあげたり、その鬼が生前に大切にしていたものを傍に置いてあげたりする場面があった。どんな状況に置かれても、常に前向きで、明るさや優しさを忘れない炭治郎の姿から、我々は学ぶことがたくさんある。いつか炭治郎のような立派な人間になりたいものだと、私もふと思う。

さて、漫画の世界から我々が生きている現実の世界へと目を向けてみるとしよう。いじめや差別、相手を傷つける「からかい」や「いじり」、匿名をいいことにSNSでの攻撃的な誹謗中傷、他人に知られたくない情報や画像の拡散……。なんということか。どれもこれも優しさの欠片もなく、鬼たちより酷いじゃないか。

炭治郎をはじめとする鬼殺隊のメンバーには、これらの卑劣な行為や醜い心をバサリと斬ってもらいたい。そして、宿敵である鬼舞辻無惨(きぶつじむざん)が太陽の光を浴びて滅亡し平和になった世界のように、我々の日常生活も争いのない穏やかな状況で、太陽の光のように明るく輝かしいものであってほしいと願っている。